

短命県返上へ前進を

県医師会
公開講座

地域での活動報告

青 森

県医師会(齊藤勝会長)は2日、県民の健康教育を目的に県民公開講座を青森市の県医師会館で開いた。「短命県返上をもう一歩前進させるには」をテーマに地域と学校、職場で取り組む健康増進の活動事例を取り上げながら「短命県返上」に向けてディスカッションした。

公開講座には医師や県民ら約80人が参加。県医師会健やか力推進センター長の中路重之弘前大学大学院医学研

究科特任教授が、弘前市岩木地区で進める大規模な健康診断「岩木健康増進プロジェクト」などの取り組みを基調講演で紹介した後、地域(行政)と職場、学校で健康増進活動をするそれぞれの担当者3人が活動事例を報告した。

このうち、弘前市の警備会社「津軽警備保障」では山口道子代表取締役が定期健康診断と二次健診の受診率が100%であることや、2008年からインフルエンザの予防接種の費用を会社が全額負担している取り組みを紹介しながら「経営者として社員の健康を守りたい」と語った。

その後、担当者3人と中路特任教授がディスカッションし「健康づくりや短命県返上にはいろんな機関が連携することが必要」と話した。

(下山静香)



短命県返上に向けてディスカッションした公開講座